

芸大生よ切磋琢磨を

東海メデイカル会長講演

救命救急用のバルーンカテーテルなどの開発・製造「東海メデイカルプロダクツ」(春日井市田楽町)の筒井宣政会長が六日、長久手市の県立芸大で講演



「良い物をつくって」と話す筒井会長＝長久手市の県立芸大で(同大提供)

し、学生や教員など約百人が参加した。筒井会長は六月、モナコで開かれた優れた起業家の功績などをたたえる世界大会に日本

代表として出場。医療機器メーカーの起業家として高い評価を受けた。筒井会長は、生まれながらに心臓病を患った次女の故佳美さんが、起業の原点になったことなどを紹介。製品が売れたことを佳美

さんに報告すると「また一人の命を救うことができたんだね」と言われたことが印象に残っているという。

これをきっかけに、筒井会長は「一人でも多くの命を救うことに重きを置くようになった」と語り、「もっけよりも、良い製品をつくることを優先することが日本人のDNA。この考えは芸術文化にも共通するもの。切磋琢磨して良い物をつくってほしい」と求めた。

(村松秀規)